

平成29年1月28日(土)

14時開演

於・セルリアンタワー能楽堂

蘇武が旅寝は北の国、これは東の空をれば、  
西より来たる秋の風の  
吹き送れと、習遠の衣打たうよ



能

# 石占

きぬた

松木千俊

CHITOSHI  
MATSUKI

第30回

まゆみ

檀の会

主催◎一般社団法人 松の会



小袖曾我

切刀 望  
佐川 勝貴

大鼓 亀井 広忠  
小鼓 成田 奏  
笛 杉 信太郎

地謡 小早川 泰輝  
武田 崇史  
武田 文志  
下平 克宏  
武田 友志

胡蝶

小川 博久

大鼓 亀井 広忠  
小鼓 成田 奏  
太鼓 観世 元伯  
笛 杉 信太郎

地謡 小早川 泰輝  
武田 崇史  
武田 祥照  
小早川 修  
大松 洋一

休憩二十分

能 砧

ツレタ霧 武田 宗典  
前シテ 蘆屋某ノ  
後シテ 北方ノ亡霊 松木 千俊

ワキ 蘆屋某 殿田 謙吉  
アイ下人 高澤 祐介

大鼓 亀井 広忠  
小鼓 成田 達志  
笛 杉 信太郎

地謡 武田 祥照  
武田 文志  
大松 洋一  
下平 克宏  
武田 久廣  
岡 志房  
浅見 重好

附祝言

後見 武田 友志  
武田 宗和  
武田 尚浩

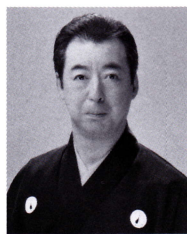
終了予定 四時四十分

能●砧「きめた」

筑前・芦屋の某(ワキ)の京の仮住まい。ワキが侍女夕霧(ツレ)を従えて出、自ら訴え出た訴訟のため在京が三年にも及び、古里の筑前の妻の事が気になるので、この暮に必ず帰る由をふくめて夕霧を使に出す事を語る。夕霧は筑前に着く。某の妻(前シテ)は静かに出、愛の薄さを嘆き、夕霧ともに世の憂さを語るうちに夜がふけ、里人の砧を打つ音が聞こえて来る。シテは蘇武の妻子が高樓に登って打った砧の音が、胡国の蘇武にまで聞こえたという故事に因んで、自分も砧を打ち、寂しさを慰めようとする。

上着の右肩を脱いだシテは、ツレと砧をはきんで向き合って坐る。(砧ノ段)は『新撰朗詠集』その他からの詩句を引用し、夜空を染め上げるような悲しみを描き出し、世阿弥の散文詩としても頂点をなす。この暮も帰らぬ旨の連絡があり、妻は夫の愛に絶望してついに空しくなる。

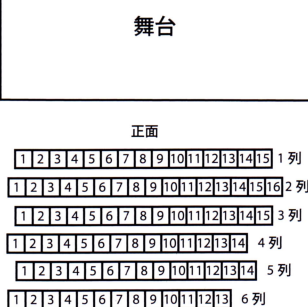
〈中入〉で、下人(アイ)は前場の経緯を語り、主人も帰国して悲しんだが、返らぬ事ゆえ、妻を回向するので、所の者も加わるように触れる。客席も弔いの場と化す。主人が従者(ワキツレ)とともに登場し、アイに砧の事を問うた後、砧の前で弔う。一声で妻の霊(後シテ)が登場し、愛欲に執する我が身を嘆き、夫の不実を責め、恨みと嘆きの中に成仏できずにいるさま、女の悶々たる情念がうっさされる。しかし、女は最後に弔いの功力によって救われる。(能楽ハンドブックより引用)



松木千俊  
まつき ちろし

観世流準職分  
重要無形文化財総合指定保持者  
昭和二十七年八月二日生  
初舞台 昭和四十一年 仕舞「老松」  
石橋 乱、道成寺、砧などを抜曲  
東京芸術大学卒業  
観世流職分 武田志房に師事

●セルリアンタワー能楽堂●  
座席表



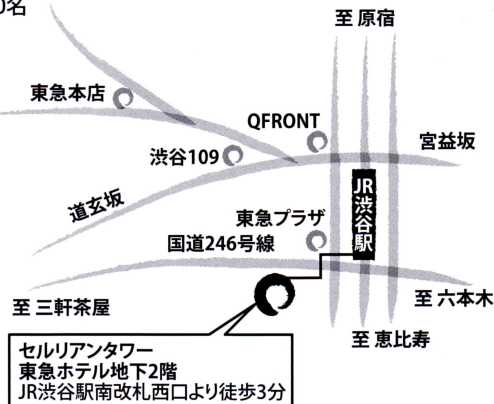
平成29年1月28日(土) 14時開演

●開場●13時30分  
於・セルリアンタワー能楽堂  
東京都渋谷区桜丘町26-1 TEL 03・3477・6412

- 入場料 (税込)
- 特別SS指定席・特別S指定席(金田中食事付) 30,000円 ※限定各10名
  - A指定席(正面ご希望の席) 11,000円
  - B指定席(正面・正面以外のご希望の席) 10,000円
  - C指定席(それ以外) 8,000円
  - 学生自由席(座敷のみ) 3,000円
  - 当日券(若干) 9,000円

※特別SS指定席: 金田中での昼食・昼食後金田中のお席で能鑑賞  
特別S指定席: 会場での能鑑賞・終了後金田中での夕食

●チケットのお求め・お問い合わせは●  
**松木千俊**  
tel.fax: 03-6767-5555  
松の会ホームページ ●matsunokai.com  
主催◎一般社団法人 松の会



第30回  
まゆみ  
檀の会